

【機密性 1】

令和 8 年 4 月 24 日（金）

総務企画部

オープンシティ・プロモーション室

定例記者会見 市長コメント（概要）

①釜石市室内の遊び場「あそびば がおー」について（こども家庭センター） 資料 1

明日 4 月 25 日（土）、イオンタウン釜石に、室内の遊び場「あそびば がおー」をオープンする。

「あそびば がおー」は天候に左右されず、年間を通して、子どもたちが安心・安全に伸び伸びと遊び、からだと心を健やかに育む場となることを願い整備した。

開館時間は 9 時から 17 時までで、基本的に年中無休となっている。利用対象は、0 歳から小学校低学年程度のお子さんとその保護者を想定しており、年齢や成長に合わせて、当市のまちの魅力を体感できるよう、大きく「おはなのひろば」、「とらまいひろば」、「うみのひろば」の三つのエリアに分けて、海や自然を感じ、郷土愛の醸成につながるよう工夫した遊具を揃えている。

また、この遊び場の整備にあたり、市民の皆様に長く愛され、親しまれる施設となるよう愛称を募集したところ、65 件の応募があり、厳選なる審査の結果、最優秀賞 1 点、優秀賞 1 点を選考し、最優秀賞として「あそびば がおー」に決定している。

最優秀賞の「あそびば がおー」は、市内にお住いの、^{すずき あい}鈴木 逢 君（8 歳）による提案で、大好きな虎舞から虎の鳴き声である「がおー」を取り入れたとのことで、みんなで楽しく遊びたいという思いが込められていると伺っている。

「あそびば がおー」では、親子で一緒に楽しむだけでなく、子育て中のご家庭の方の交流の場となることも期待しており、この遊び場が多くの方々にご利用いただき、釜石の魅力を発信し、交流の拠点となるよう努めていく。

なお、明日の午前 9 時 30 分からオープニングセレモニーを開催するので、報道機関の皆様におかれては、取材方よろしく願います。

②大島家資料の寄贈について（文化財課） 資料 2

今年、令和 8（2026）年は、近代製鉄の父 ^{ぶんせい}大島高任が誕生した江戸時代後期の文政 9

(1826)年5月11日から数えて200年目を迎える。

この節目の年にあたる今年3月30日、高任の来孫、現大島家ご当主の大島華子氏はなこより、高任の業績を示す貴重な「大島家資料」が『鉄の歴史館』に寄贈された。

本資料は、高任に関する資料を中心とする大島家資料694件で、昭和60(1985)年の鉄の歴史館開館当初から市に寄託された資料及び、その後、数回にわたり追加で寄託していただいた資料となっている。

内容は、初期の高炉や官営釜石製鉄所といった釜石に関する資料や、明治期における全国各地での鉱山開発の資料など鉄に関する資料をはじめ、高任が岩倉遣欧使節団いわくらけんおうしせつだんに随行した際の資料や、那須野が原なすののブドウ農園の資料など、高任が明治新政府において技術者として高く評価された事実や、多彩な才能に満ち溢れた生涯が伺える資料のほか、八幡製鉄を創業に導いたご子息の道太郎氏の資料等も含まれている。

今回寄託から寄贈となったことで、今後起こりうる資料の修繕等についても速やかな対応が可能になるなど、「大島家資料」のより効果的な活用及び適切な管理が見込まれるほか、他の博物館等への資料の貸し出し等によりこれまで以上に活用の幅を広げてまいりたいと考えている。